

「抹茶 REVOLUTION」

～岡山に新たな抹茶の歴史を～

【作品の要旨】

岡山県は北前船による交易の影響でお茶との関わりが深く、古くからその文化は繁栄していた。そこで、岡山県初の県内産の抹茶を栽培・製造し、よりその文化を広めたいと考えた。しかし、実際に農家の方と協力して栽培すると、高齢化や収益の問題に直面した。その問題点について解決策を模索しまとめた。この研究により、お茶農家の収入増や新規就農者増加、耕作放棄の改善など持続可能な農業の発展が期待でき、さらには県内産の抹茶を使い、岡山県にお茶文化を広め、日本文化の普及につながると考えている。

【感想】

実際に農家の方と作業をすることで、栽培の苦労や細やかな気遣いなど大変さを身をもって感じることができました。研究をまとめるにあたっては、調べることに大変さを感じることもありましたが、それ以上に自分たちが普段受けている茶道の授業では学べない抹茶の奥深さを知ることができ、楽しかったです。

【受賞の喜び】

自分たちの作品を選んでいただき大変ありがたい気持ちです。協力して下さった農家の方や、抹茶工場の方を始め、多くの人に感謝しています。

倉敷翠松高等学校

山本 璃音

甲斐 美咲

中山 雪那



審査員からのコメント

本研究は、岡山県に抹茶の生産を広めるため、多方面からその可能性を探っている非常に野心的な取り組みであるといえる。岡山県における抹茶の生産量が少ない背景を明らかにし、県内農家と協働で実際に抹茶を生産することで、実践による抹茶生産の課題を認識している。さらに、抹茶の流通のための収支計算も緻密に行なっており、これらの点は非常に高く評価される。今後はこの研究を発展させ、需要の掘り起こしやブランド化など、流通化に取り組むことで、岡山県に高校発の抹茶文化を根付かせることを期待する。

